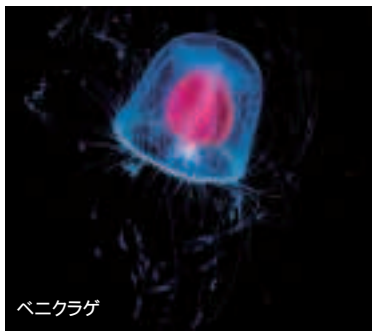




オワンクラゲ



ペニクラゲ



カミクラゲ

潮の流れに身をまかせ ふわふわと漂うクラゲたち

新緑が眩しい季節になりました。先月まで1けただった水温も、藤の花の開花と時を合わせるように2けた水温に上がり、水中の生き物たちも冬眠から目覚めたかのように行動が活発になってきました。

毎年恒例、春から初夏にかけてのベビークラゲは、カメラ派ダイバーにとって良い意味で気が抜けない季節なのです。

今回ご紹介するのは、ベビークラゲの話とは全く違う「クラゲ」です。

海水浴ではとかく嫌われ者のクラゲですが、南三陸沿岸で強い毒を持つものは、数ある種の中でほんの一部です。この辺りで刺すクラゲは、お盆前後に発生するアンドンクラゲやカギノテクラゲです。ちなみに刺されたときの応急処置方は、タオルなどでクラゲの触手を取り除き、海水やお酢で洗い、水や水で冷やします。ひどい場合は痛みがする場合は、医師に見てもらうことをおすすめします。

この嫌われがちなクラゲですが、その美しさから水族館でも展示される機会も増えていきます。ダイビング中にも、これからの季節は多く観察できるようにになります。

潮の流れに身をまかせ、ふわふわと漂う姿は「クラゲ」という字より、「水母」や「海月」というイメージがふさわしく、時間の流れを忘れさせてくれる「癒し」を感じます。

(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

編集後記

▶パノラマを背に鹿子が力強く跳躍する表紙の写真は、私のお気に入り作品。▶「今度の表紙はつつじまつり！」と意気込んでデジタルカメラで撮った232枚の中から選んだ1枚です。▶まつり会場は広く起伏があるので、日ごろ運動不足の私には、汗を流しながらの取材でした。▶その日、編集作業をしていると寒気が。案の定、翌日には熱を出してしまいました。▶「鹿子のような体力をつけなきゃ。」と思っても、上のクラゲを見て親しみを感じ、癒されている私です。 担当 佐藤

●日曜当番医

6/3 高橋クリニック
☎46-4315(志津川字中瀬町)

6/10 本田記念あおいクリニック
☎46-4530(志津川字十日町)

6/17 南三陸志津川クリニック
☎47-2777(志津川字塩入)

6/24 上田クリニック
☎36-2316(歌津字中山)

7/1 鎌田医院
☎36-2008(歌津字伊里前)

●第1・第3日曜歯科当番医

6/3 三浦歯科医院
☎42-2418(本吉町津谷明戸)

6/17 志津川駅前歯科クリニック
☎46-4114(志津川字廻館前)

7/1 小野寺歯科医院
☎36-3717(歌津字伊里前)

※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。